

## 「頼もしい卒業生たち」 (卒業式は講堂 保護者はテレビ画面で)

3月1日(月)10時開式、「講堂」での実施となった。普通科は第73回、理数科は第50回の卒業証書授与式である。2月13日の震度6強の地震で体育館が使えなくなり、また、新型コロナの関係で密を回避するため、講堂の広さの関係で保護者も入場不可、卒業生と先生方そして来賓2名(馬城会・PTA)のみの参加となった。保護者も1名に限定され、特別教室や玄関近くの小ホール状空間におかれたTVで式の様子を間接的に見ることになった。



保護者はモニターで

吹奏楽部の部員が、講堂の傍の音楽室のベランダ附近に揃い、外からの「♪よろこびへ歩きだせ」の演奏を背に、間隔をとり厳かに入場した。国歌斉唱はCDから流れた。

卒業証書授与は、最初に、普通科3クラスの生徒たちがクラス毎に呼名され、青田くんが代表で受け取り、理数科1クラスの代表は伊東くんであった。呼名され「はい」と応えるお子様の元気な生の声を聞けなかったことは保護者のみなさまにとって心残りであったことと思います。菊田校長の式辞があり、来賓は印刷物による祝辞となった。

「送辞」は、生徒会長の田中さん、答辞は中塚くんであった。答辞の中塚くんは、3年間のできごと、生徒会活動で得た人とのつながりなど相馬高校が心の拠り所になったことを、具体的に自分のことばで印象的に語りかけた。高らかにみんなで歌うはずの「♪校歌」も、CDでの対応となった。

いよいよ退場、4人の担任がクラスの前に立つ。クラス毎に一斉に立ち上がり「ありがとうございました」が講堂内に響きわたる。吹奏楽部の「♪栄光の架橋」の演奏、同時に先生方や外に待機していた数十人の後輩たちの拍手に送られて、各教室へ、そして学び舎を旅立っていった。



卒業生たちは整然と



外から「♪栄光の架橋」の演奏でエール